

おいたっが新聞

H25年度第11号/H25年4月発行/野尻中央病院情報管理委員会

～言葉の語源～

「おいたっが」…“我々の”という意味で、野尻中央病院の基本理念である「みんなで創ろう！職員、患者が笑顔に満ちたおいたっが田舎病院」から取ったものです。

■『野尻中央病院 診察券』ができました！

平成25年3月1日より当院も診察券を導入し、これまでよりもスムーズな受付が可能となりました!!平成25年3月1日以降に来院された方から随時お渡ししております。ご不明な点がございましたら受付スタッフにお声がけください。



★受付からのお願い

- ・来院時に必ず受付へご提出ください。
- ・紛失された場合、再発行は可能ですが、200円の料金が発生しますのでお気を付けてください。

失くさない様に
気をつけてくださいね♪



■行事紹介

今年は、桜の開花が予想以上に早く、いつの間にか葉桜の季節になってしまいました。昨年末～3月にかけて沢山の行事が行われました。少しですが写真とともにご覧ください。

★クリスマスイベント 昨年12月★

野尻中央病院合唱部による歌と、ハンドベルの演奏を行いました。そして、お楽しみプレゼントの後の、プチケーキにデコレーション等々、利用者さん・スタッフにとって楽しいクリスマス会となりました♪



★餅つき(デイケア)昨年12月★

デイケアふれあいの利用者さんと一緒にもちつきを行いました。

道具は、杵と臼、それと『餅つき機』三台!!

利用者さんからは「昔は杵と臼でたくさん餅をついてたのよ」との声も…。これに奮起した負けず嫌いの職員 N さん…若いのに上手でした♪ 実はこの餅つき機、パンも焼けるという優れ物!!次回はパン焼きを検討ですね!



★節分 今年2月★

2/3、病院に鬼が来ました!!

鬼は、外来・透析・病棟・デイケア・川ハビ川室を回り、病院中を荒らしまわっていました!!

しかし、皆さんが一生懸命豆を投げてくれたおかげで、鬼はへトへトに…。無事退治することが出来ました!!きっと、今年の厄は過ぎ去っていったことでしょう!!

本当にありがとうございました!!



今度のイベントは、
田植えじゃぞ



★蕎麦打ち、凧揚げ 今年2月★

2/11 に(社)生き活きのじり里山主催で蕎麦打ち・凧揚げを行いました。デイケアの利用者さんと職員とその子供達みんなで蕎麦をこねる・切る作業。そして最後においしくいただきました♪

午後からは、職員の子供達をメインに凧揚げを行いました。

一から作る凧だったので、ちゃんと揚がるか心配でしたが、天候にも恵まれ、凧は天高く上がりました!!



★春の酵素ジュース作り 今年3月★

先日デイケアふれあいで、(社)生き活きのじり里山主催の酵素作りが開催されました。

今回の材料は春の野菜・果物・野草が中心です。

野草は、近くの野畑へ採りに行きました!! 次回は夏の酵素ジュースを行います。参加は自由です。皆さん是非参加してください☆



『酵素』とは…

酵素は体の中で代謝(体の器官を新しいものに変える、体温の調節、血液の循環といった機能)を行う上で必要不可欠な物質です。

酵素には、『消化酵素』と『食物酵素』の2種類あり、『消化酵素』は体内から分泌されるのですが、体内で作られる量が年齢と共に減少してしまい

ます。そこで、食物から補う『食物酵素』の存在は欠かせません。

代表的なものとして味噌、納豆、漬物、新鮮な生野菜、魚などが多くの酵素を含んでいます。

詳しくは、野尻中央病院内 一般社団法人 生き活きのじり里山 酵素作り担当:平野償子まで

■『失敗学』ってなあに？

日本で起こっている医療過誤や医療事故って一年間で一体がどのくらいなのでしょう？

実は正確な数字は把握できないんです。というのも、一つの病院で起こる、小さな事故(ヒヤリハット)から、大きな事故(アクシデント)まで数え上げると、とても多いからなんです。

東京大学大学院特任教授の濱口哲也先生による『医療版失敗学』は、失敗を失敗のままで終わらせず、大事なポイントをつかみ出し、事故の再発防止や、未然防止につなげる考え方で、産業界から生まれました。それを、“難しい学問”としてではなく、“誰もがわかり、実際に役立つもの”にしたのが「医療版失敗学」です。

当院では、その濱口先生を特別講師としてお迎えし、研修会を行いました。皆、真剣な眼差しで研修を受けていました。

この研修会を活かして、より安全で安心できる医療サービスをごく当たり前のよう提供できるように努めてまいります。



難しく考えないで、とにかく前に進むこと

